



Music Program TOKYO

Workshop Workshop!

東京ネットワーク計画

4館連携 若手アーティスト支援

アフタヌーン・ コンサート

Afternoon Concert by Young Musicians

2024年
(令和6年) **2月25日**(日) **14:00**開演

東京文化会館 小ホール
Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

ツェムリンスキー：ユモレスク

ZEMLINSKY: Humoreske

ボザ：スケルツォ Op.48

BOZZA: Scherzo, Op.48

ブリッチャルディ：木管五重奏曲 二長調 Op.124より 第1楽章

BRICCIALDI: Wind Quintet in D major, Op.124-1st movement

ロータ：小さな音楽の贈り物

ROTA: Piccola offerta musicale

私たち芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインドは、“演奏家から〈音楽家〉へ”をスローガンに日々レッスン、ゼミ、演奏を通して実践的に学んでいます。発音や構造が異なることで個性的な音色が絡み合い、小さなオーケストラのような多彩な響きをもつ木管五重奏。本日はその魅力を存分に味わえる選りすぐりの曲を、未来に羽ばたくエネルギーな演奏で、講師の長哲也とともにお届けします。

始まりはオーストリアの作曲家ツェムリンスキー「ユモレスク」。メロディが次々と入れ替わるこの曲は、それぞれの音色を紹介するオープニングにぴったりです。次にフランスよりボザの作品「木管五重奏のためのスケルツォ」。まるでフランス語で会話をしているかのように目まぐるしく音楽が駆け抜けていく様が面白い曲です。対して明るく快活な、室内楽ならではの音楽での対話が楽しい、イタリアの作曲家ブリッチャルディの「木管五重奏曲 二長調」。最後はロータ「小さな音楽の贈り物」。曲名の通り、皆様に今日の思い出を音楽でお贈りします。

どの曲もお互いの信頼度や技術力が試される挑戦的なプログラムです。私たちの未来を想像しながらお楽しみください。

(出演者一同)

芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインドより 木管五重奏

Wind Quintet from the GEIGEKI Orchestra Academy for Wind

和田桃子(フルート)

WADA Momoko, Flute



©T.Tairadate

桐朋学園大学フルート専攻を首席で卒業。第17回仙台フルートコンクール一般部門入選。第34回かながわ音楽コンクール神奈川新聞社賞。つくばフルートコンクール2018入選など。小澤征爾音楽塾塾生としてセイジ・オザワ松本フェスティバル「子どものための音楽会」に出演。2022年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド第8期生。これまでに、フルートを出口清子、野原千代、大友太郎、神田寛明、泉真由の各氏に師事。

大和田璃奈(オーボエ)

OWADA Rina, Oboe



©T.Tairadate

12歳からオーボエを始める。福島県立磐城高等学校卒業、尚美ミュージックカレッジ専門学校2年次卒業、コンセルヴァトアールディプロマ科を経て、現在フリーランスとして活動中。在学中、選抜学生によるディプロマフレッシュコンサート出演。SAKURA JAPAN MUSIC COMPETITION 2021において第1位並びにオーボエ部門グランプリ受賞。現在、芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド第8期生、桐朋学園大学音楽研究科に所属。これまでにオーボエを前川光世、和久井仁、市原満、辻功、広田智之、嶋崎耕三の各氏に、室内楽を多田逸左久氏に師事、ヤン・トゥリ氏のマスタークラス受講。

栗山かなえ(クラリネット)

KURIYAMA Kanae, Clarinet



©T.Tairadate

東京藝術大学3年次在学中。第9回湧き上げる音楽祭ソリストとして山下一史氏、北九州グランフィルハーモニー管弦楽団と共演。第20回日本ジュニア管打楽器コンクール金賞。第44回九州高等学校音楽コンクール木管楽器部門グランプリ。SAKURA JAPAN MUSIC COMPETITION 2020クラリネット部門グランプリ。第24回日本演奏家コンクール木管楽器部門大学生の部第3位。1年次に春日市ふれあい文化センタースプリングホールでのソロリサイタルを満員御礼にて終演。東日本大震災以降、毎年被災地音楽支援活動を行う。現在、三界秀実、中館壮志の各氏に師事。芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド第10期生。

長哲也(ファゴット/講師)

CHO Tetsuya (Trainer), Bassoon



©Ayane Shinoda

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。フランス国立リヨン高等音楽院大学院修了。第30回日本管打楽器コンクールファゴット部門第2位。同声会賞受賞。第48回北九州市民文化奨励賞受賞。2019年度文化庁新進芸術家海外研修生として、フランス国立リヨン高等音楽院大学院で学ぶ。15年東京オペラシティリサイタルシリーズ「B→C」に出演。18年フォンテックよりデビューCD「SOLILOQUY」をリリースし、「レコード芸術」にて特選盤に選ばれる。ソリストとして新日本フィルハーモニー交響楽団と共演。現在、東京都交響楽団首席ファゴット奏者。

古川優貴(ホルン)

FURUKAWA Yuki, Horn



©T.Tairadate

千葉県九十九里町出身。2018年ジュニアソロホルンコンクール奨励賞。日本ホルン協会オーケストラオーディション・コンクール本選出場。令和3年度、4年度福井直秋記念奨学金給費奨学生。ホルンを大森啓史、日高剛、今井仁志の各氏に師事。室内楽を北村貴子氏に師事。千葉県立成東高等学校を経て、武蔵野音楽大学を卒業。現在フリーランスとして日本各地のプロオーケストラに客演するなど活動中。芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド第10期生。

プロコフィエフ：弦楽四重奏曲第2番 へ長調 Op.92より 第1楽章、第2楽章

※アウトリーチ形式による

PROKOFIEV: String Quartet No.2 in F major, Op.92-1st and 2nd movements

* performed in outreach style

I. Allegro sostenuto

II. Adagio

本日のコンサートでは皆さまに、私たちが今年度取り組んできた未就学児対象のアウトリーチプログラムの一部をお届けいたします。

アウトリーチでは、子どもたちに、4人の奏者が音楽を通してコミュニケーションをとる様子や、自由に音楽に触れるおもしろさを感じてもらえたら、という思いで構成を考えました。前半はアンダーソン作曲「ワルツィング・キャット」、J.シュトラウス2世作曲「雷鳴と稲妻」など、タイトル含め、具体的な音や様子が表現されている作品を通じて、「音楽を聴きながら想像する」体験をしてもらいました。最後に、本日も演奏するプロコフィエフの「弦楽四重奏曲第2番」より第1楽章を演奏し、前半の体験をもとに、音楽からそれぞれ自由に想像を膨らませてもらいました。自身の感性で自由に音楽に向き合う子どもたちに出会い、私たちにとって音楽によるコミュニケーションが生まれた素晴らしい時間となりました。

本日はアウトリーチとはまた違ったホールという空間ですが、皆様とともに、音楽を通じた対話を楽しむ時間を過ごすことができましたら嬉しく思います。

(出演者一同)

休憩 intermission

ドヴォルザーク：オペラ『ルサルカ』より「月に寄せる歌」◆

DVOŘÁK: "Měsíčku na nebi hlubokém (Song to the Moon)" from *Rusalka*

マスネ：オペラ『ウェルテル』より「ウェルテルよ、誰が言えましょうか」(手紙の歌)◇

MASSENET: Letter Aria "Werther! Qui m'aurait dit ... Ces lettres!" from *Werther*

ドリーブ：オペラ『ラクメ』より 花の二重唱「ジャスミンが咲くドームへ」◆◇

DELIBES: Flower Duet "Dôme épais le jasmin" from *Lakmé*

本日は、19世紀の終わりにチェコやフランスで生まれた、後期ロマン派のオペラをお届けします。人間の王子に恋をした水の精ルサルカが、月に向かって王子への熱い想いを歌う「月に寄せる歌」では、甘美でどこか哀愁を帯びた大変美しい旋律にご注目ください。2曲目は、ゲーテの小説を題材にしたオペラ『ウェルテル』よりシャルロットのドラマティックなアリア（手紙の歌）で、人妻である彼女に想いを寄せる若き詩人ウェルテルからの手紙を読むシーンで歌われます。その手紙の最後には自殺がほめかされ、ウェルテルに心惹かれながらも愛を拒んだシャルロットは、彼を孤独に追いやって自分に絶望し、苦悩します。最後にお届けするオペラ『ラクメ』は、植民地体制下のインドが舞台で、19世紀後半に流行していた東洋的な雰囲気を描いた作品です。「ジャスミンが咲くドームへ」は、花の二重唱という名前でも知られ、この世のものとは思えぬほど美しく神秘的な響きが特徴です。舟歌のようなピアノの音楽によって、2人で奏でるハーモニーをお楽しみいただければ幸いです。

(出演者一同)

アウトリーチセミナー修了生による弦楽四重奏

String Quartet from the Outreach Seminar Alumni

大庭絃子(ヴァイオリン)

OBA Itoko, Violin



桐朋女子高等学校、桐朋学園大学を経て、同大学院音楽研究科修了。高嶋ちさ子12人のヴァイオリニストメンバーとして4年間活動し卒業。第4回日本イタリア協会コンクール金賞。第23回JLA音楽コンクール弦楽器部門第2位。第21・22回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。後進のヴァイオリン指導やコンサート制作運営等も手掛ける。2021年スカーラ楽団設立、代表理事。ヴァイオリンを上西玲子、加藤知子、漆原啓子の各氏に師事。アウトリーチセミナー2016受講。大庭絃子オフィシャルサイト<https://itokooba.com/>

岩澤なぎさ(ヴィオラ)

IWASAWA Nagisa, Viola



5歳よりヴァイオリンを始める。第28回かながわ音楽コンクール入選。第63回鎌倉市学生音楽コンクール第3位、優良賞。成績優秀者による桐朋学園大学student concert出演。桐朋学園宗次ホール・オープニングコンサートシリーズにて清水和音氏と共演。ヴァイオリンを米納真妃子、前澤均、神代恭子、久保良治、ヴィオラを鈴木康浩、室内楽を菊地知也、鈴木康浩、水谷晃の各氏に師事。北鎌倉女子学園高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業。アウトリーチセミナー2022受講。現在、同大学院音楽研究科修士課程2年在学中。

安田沙織(ヴァイオリン)

YASUDA Saori, Violin



3歳よりヴァイオリンを始める。室内楽を中心とした演奏活動、教育施設・福祉施設でのアウトリーチ活動に取り組むかたわら、幼稚園児から大人まで幅広い世代へのヴァイオリン指導も行う。これまでにヴァイオリンを柴香苗、漆原朝子、松原勝也の各氏に、室内楽を市坪俊彦、植村太郎、川崎和憲、菅谷早葉、松原勝也、三又瑛子の各氏に師事。東京藝術大学附属高等学校を経て、東京藝術大学を卒業。アウトリーチセミナー2022受講。現在、同大学院音楽研究科修士課程2年在学中。

松本亜優(チェロ)

MATSUMOTO Ayu, Cello



9歳よりチェロを始める。桐朋女子高等学校、桐朋学園大学を経て、同大学院音楽研究科修了。第5回日本演奏家コンクール弦楽器部門第3位。第5回多摩フレッシュ音楽コンサート弦楽器部門優秀賞。第11回いしかわミュージックアカデミー奨励賞。第20回日本クラシック音楽コンクール弦楽器部門第3位。平成27年度公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業(財・地域創造)アーティスト。サントリーホール室内楽アカデミー第3・4・5期フェロー。アウトリーチセミナー2016受講。現在、桐朋学園大学音楽学部嘱託演奏員。

サントリーホール オペラ・アカデミーより

Singers and Pianist from the Suntory Hall Opera Academy

東山桃子(ソプラノ)◆

TOYAMA Momoko, Soprano



岩手県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科首席卒業、同大学大学院修士課程声楽専攻修了。2019年度青山音楽財団奨学生、21年度武藤舞奨学金奨学生。第15・16回高校生のための歌曲コンクール本選奨励賞。第69回全日本学生音楽コンクール声楽部門高校の部全国大会入選。ブラームス「ドイツ・レクイエム」、ヘンデル「メサイア」のソリストを務める。杉浦真理、村松玲子、大村博美、菅英三子の各氏に師事。現在、サントリーホール オペラ・アカデミー プリマヴェーラ・コース第7期在籍中。

岡山真奈(ピアノ)

OKAYAMA Mana, Piano



滋賀県出身。京都市立京都堀川音楽高等学校、愛知県立芸術大学卒業。大阪芸術大学博士課程(前期)を首席で修了。ヤマハヤングピアニストコンサート2006年金賞。第26回滋賀県ピアノコンクール第3位。第15回大阪国際音楽コンクールピアノ部門Age-Uエスポール賞。第28回日本クラシック音楽コンクール優秀賞。第18回アジア国際音楽コンクール声楽器楽伴奏部門第1位。現在、サントリーホール オペラ・アカデミー プリマヴェーラ・コース第7期在籍中。

伴野公三子(メゾソプラノ)◇

BANNO Kumiko, Mezzo-soprano



東京藝術大学卒業、同大学別科修了。第63回藝大オペラ定期公演「フィガロの結婚」に花娘II役で出演。第73回全日本学生音楽コンクール東京本選入賞。第1回国際声楽コンクール東京歌曲部門第2位(最高位)および東京新聞賞受賞。第1回とやま美歌コンクール聴衆賞。第21回北陸新人登壇門コンサートにてオーケストラ・アンサンブル金沢と共演。これまでに人見共、佐々木典子、手嶋真佐子の各氏に師事。現在、サントリーホール オペラ・アカデミー プリマヴェーラ・コース第7期在籍中。

ラヴェル：弦楽四重奏曲 へ長調より 第1楽章、第2楽章、第4楽章

RAVEL: from String Quartet in F Major -1st, 2nd, and 4th movements

- I. Allegro moderato, très doux
- II. Assez vif, très rythmé
- IV. Vif et agité

「クアルテット・フェリーチェ」を結成してから4年間、クアルテットとは何かを常に模索してきました。大きく異なる4人が集まり、1つの音楽を奏でるといえるのは容易いことではありません。ときに意見がぶつかったり、個性をどう扱うか悩むことも多々あります。しかし多様な人が集まって音楽的にも人間的にも歩み寄るからこそ、1人では作ることのできない響きや表情が生まれてくることに気づきました。ラヴェルの弦楽四重奏曲は、鮮やかな表現とクアルテットとしての統一性、また各人の個性が融合した色彩豊かな作品です。

多くの作曲家が円熟期を迎えてから弦楽四重奏曲に取り組んでいるのに対し、ラヴェルは27歳という若さでこの曲を書き上げました。美しいメロディーと斬新な和声の背景には古典的な書法が用いられ緻密で理知的な作りとなっています。この作品を演奏するとき、私は音選びに大きな魅力を感じます。4人によるアンサンブルのわりに音数が多く、響きの中を漂ったり、ピチカートやトレモロなどの特殊な奏法を用いたり、予想のつかない音の動きが音楽に彩りをもたらします。

ラヴェルの洗練された音使いと4人のアンサンブルをぜひお楽しみください。

(クアルテット・フェリーチェ：藤野真美)

サントリーホール室内楽アカデミーより

String Quartet from the Suntory Hall Chamber Music Academy

五月女 恵(ヴァイオリン)
SAOTOME Kei, Violin



2009年東京都交響楽団と共演。第67回全日本学生音楽コンクール東京大会第3位。第9回ミュージック・アカデミー in みやぎにて奨励賞受賞。14年、米国アスペン音楽祭に参加し川崎雅夫氏に師事、また選抜コンサートに出演。現在、篠崎史紀氏に師事。桐朋学園大学音楽学部4年在学中。学内成績優秀者によるStudent Concert、卒業演奏会に出演。

川邊宗一郎(ヴィオラ)
KAWABE Soichiro, Viola



第68回全日本学生音楽コンクール名古屋大会中学校の部第3位。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2022第2位(最高位)。これまでにヴァイオリンを加藤瑞木、イゴール・オジム、藤原浜雄の各氏に師事。室内楽を、磯村和英、山崎伸子の各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部4年在学中。

クアルテット・フェリーチェ(弦楽四重奏)
Quartet Felice, String Quartet

2020年桐朋学園大学1年在学中の4人で結成。ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン、霧島国際音楽祭、ル・ボン国際音楽祭、プロジェクトQ、とやま室内楽フェスティバル、学内オーディションによる室内楽演奏会などに出演。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2022第2位(最高位)。磯村和英、山崎伸子の各氏に師事。

清水耀平(ヴァイオリン)
SHIMIZU Yohei, Violin



第29回日本クラシック音楽コンクールヴァイオリン部門全国大会第3位。第32回同コンクールヴィオラ部門第3位(最高位)。その他多数受賞。第103・105・108回桐朋学園室内楽演奏会に出演。現在ヴァイオリンを石井志都子、漆原啓子の各氏に、ヴィオラを佐々木亮氏に師事。桐朋学園大学音楽学部4年在学中。

藤野真美(チェロ)
WARABINO Mami, Cello



5歳よりチェロを常光聡氏に、2016年より毛利伯郎氏に師事。第19回泉の森ジュニアチェロコンクール銅賞受賞。第74回全日本学生音楽コンクール東京大会大学の部第3位。IMA2022奨励賞受賞。これまでに室内楽を池田菊衛、磯村和英、堤剛、三上桂子、山崎伸子の各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部4年在学中。

デュカス：ヴィラネル

DUKAS: Villanelle

ボザ：森にて Op.40

BOZZA: En forêt, Op.40

フランツ：無言歌 Op.2

FRANZ: Lied ohne Worte, Op.2

1曲目のデュカスの「ヴィラネル」はフランス語で田園詩と訳されます。この曲はバリ音楽院の入学試験の課題曲として作曲され、技巧的で明るく伸びやかな曲調となっています。2曲目のボザの「森にて」はバリ音楽院の卒業試験の課題曲として作曲され、特殊奏法を多く用い豊かで美しい音楽が表現されています。3曲目のフランツの「無言歌」は「ホルンとピアノのための三つの作品」の中の一作品です。ピアノとホルンのアンサンブルがとても美しく抒情的な曲となっています。

私たちは東京音楽大学の付属高校から同級生ですが、演奏会で共演することは初めてです。時を同じくして東京音楽コンクールで入賞させていただき、今回このような機会をいただけること、大変光栄に思います。明るく華やかな2曲と抒情的な1曲で構成されたプログラムを今回、同級生コンビの演奏で、聴いて下さる方々に癒しのひと時を感じていただければ幸いです。

(吉田智就・藤平実来)

東京音楽コンクール入賞者より

Tokyo Music Competition Prizewinners

吉田智就(ホルン) 第20回金管部門第1位
YOSHIDA Tomonari, Horn
1st Prize of Brass section at the 20th Tokyo Music Competition



1999年千葉県出身。東京音楽大学付属高等学校を経て、2022年に東京音楽大学音楽学部器楽科ホルン専攻を卒業。現在、東京音楽大学大学院器楽専攻管打楽器研究領域(ホルン)に科目等履修生として在籍。第92回日本音楽コンクールホルン部門第1位および岩谷賞(聴衆賞)、第38回日本管打楽器コンクールホルン部門第1位および文部科学大臣賞、東京都知事賞を受賞。ソリストとして東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、千葉交響楽団と共演。これまでにホルンを吉永雅人、福川伸陽の各氏に師事。

藤平実来(ピアノ) 第20回ピアノ部門第2位
FUJIHIRA Miku, Piano
2nd prize of Piano section at the 20th Tokyo Music Competition



1999年千葉県出身。東京音楽大学ピアノ演奏家コースを卒業後、同大学院修士課程器楽専攻鍵盤楽器研究領域(ピアノ)2年に特別特待奨学生として在学中。2022年度ティーチングアシスタントを務める。第91回日本音楽コンクールピアノ部門第3位。2023年度宗次エンジェル基金奨学生。これまでに吉井恭子、石岡千弘、長川晶子、岡田敦子、東誠三、松本和将の各氏に師事。

Q1 それぞれの若手支援事業に参加し、どのような学びがありますか。また自分自身の演奏活動にどんな影響をもたらしていますか。

芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド 大和田瑠奈

実践的な機会に恵まれ、日常生活における生の音楽の現場に参加できること、心より感謝しております。同時に、常に挑戦・進化し続ける姿勢を忘れてはいけなく、と実感します。それは単に演奏技術だけではなく、人間としての向上心も呼び起こされます。相手を想って関わることの大切さ、音楽の持つ真の力に改めて気付くこともできました。私にとってこのアカデミーに参加したことは、人生における重要なポイントの内の一つであり、1人の音楽家として未来へと続くバトンを受け取るような気持ちで、丁寧に音楽を紡いでいきたいという思いが強くなりました。

トリトン・アーツ・ネットワーク/第一生命ホール アウトリーチセミナー 岩澤なぎさ

「自分の気持ちに正直になることができなければ、人に何かを伝えることはできない」、当たり前のように感じますが、弾くことの難しさやアンサンブルが乱れることを気にすることで、私は自由になれずにいました。セミナーではそういったしがらみを超えた先に音楽の本質があり、その本質に触れなければ伝えられないのだと考えさせられました。そうは言っても、やっぱり音楽の縦を合わせようとしてしまう自分がいて、自由になれないもどかしさを感じていました。しかし、アウトリーチで子どもたちを前にしたとき、自然と「今の自分の正直な気持ちを届けたい」と思えて、それがものすごく嬉しかったです。この気持ちはこれからの演奏活動でもずっと大切にしていきたいです。

サントリーホール オペラ・アカデミー 伴野公三子

サントリーホール オペラ・アカデミーでは、発声法、ディクシオン、楽譜の読み解き方といった基礎的な技術を学び直すとともに、語学、演出、発声学などのあらゆる分野のプロから講義を受ける機会もあります。歌手として身につけておかなければならないスキルばかりですが、こういった事を細かく丁寧に、根気強く教えていただける場はなかなかありません。中でも一曲に対して、譜面を深く読み解き、綿密な表現を追求するサッパティーニ先生の曲作りは、私の演奏の指針となりました。よりよい演奏に向けた皆さんの知識を得て、経験を重ねていきたいと思っています。

サントリーホール室内楽アカデミー 蕨野真美

サントリーホール室内楽アカデミーに参加させていただいて強く感じるのは、その環境の素晴らしさです。日本を代表する音楽家であるファカルティの先生方に教えていただけることはもちろん、サントリーホールという最高の場所で演奏させていただけること、同じ志を持つフェローの方々に関わることは、室内楽を学ぶこと以上に私の音楽人生における大きな経験であり、宝物です。また室内楽から学ぶことはソロやオーケストラを演奏する際にも役立ちます。先生方には室内楽を通して、私たちが音楽家としてより成長できるよう、幅広い視点から教えていただいています。

東京音楽コンクール入賞者 藤平実来

まずコンクールの本選でコンチェルトを演奏できたことは、私にとって本当に大きな出来事の一つでした。プロのオーケストラとの共演する機会は本当に貴重なことであり、私の音楽人生における大きな財産となりました。そして何より入賞後もこうして演奏の機会をいただけること、心から感謝しております。

Q2 これからの音楽シーンを担う存在として、どのような演奏家、音楽家になっていきたいですか？目標とする音楽家像や、将来に描く夢・ビジョンについて教えてください。

芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド 和田桃子

アカデミーでよく言われるのは“何でもできる”音楽家としてのあり方です。何でもできるというのは、ただ演奏をするだけではなく、作曲家のこと、作品のこと、和声のこと、楽器のこと、自分のこと、社会のこと、色々なことが分かっているということです。また、多くの演奏家がいる中で、自分が演奏をする必要性も、常に考えています。これらを探求する道のりは大変ですが、一方でとても楽しいようにも思えます。自分が好きだと思える音楽に怯むことなく向き合い、その喜びを分かち合うことのできる音楽家になりたいと思っています。

トリトン・アーツ・ネットワーク/第一生命ホール アウトリーチセミナー 安田沙織

音楽を通して生まれる、共演者や聴いてくださる方々との対話を大切にしたいと考えています。奏者と聴衆という関係性を超えて、空間や時間を共にすることの魅力が伝えられる音楽家になりたい、と思います。またアウトリーチ活動の中で、あまりコンサートへ足を運ばれない方や、より若い世代のみなさんにも、音楽を身近に感じていただける可能性がみえる瞬間がたくさんあります。より公演数を増やしていくことで、そういった方々自身がその可能性に気づき、育てるきっかけをつくってきたいです。

サントリーホール オペラ・アカデミー 東山桃子

演奏者であれば誰も、美しい音を出すこと、よりよい音楽をすることを大切に考えると思います。それらはもちろん必要なことですが、私自身今後も常に考えることだと思っていますが、いつも音楽を奏でる喜び、楽しむ心を忘れない演奏家でありたいと思っています。声楽は〈息の芸術〉ですから、自身の呼吸と会場にいる方々の呼吸を大切に、そこで生まれた音楽を楽しみながら共感できることが理想です。音楽を通してたくさんの方々とコミュニケーションをとることができたら素晴らしいですね。

サントリーホール室内楽アカデミー 蕨野真美

抽象的な表現ではありますが「良い音楽家」になりたいと考えています。楽器が上手に弾けたり才能のある音楽家はたくさんいますが、やはり人として愛される、一緒に音楽を作りたいと思われる音楽家になる必要があると思います。このような考えを持つようになったのも、ファカルティの先生方との出会いが大きく関わっています。先生方は私たちのような未熟な学生に対しても、いち音楽家として接して下さり、また音楽家だけではなく周りの全ての方々を大切にしていってらっしゃいます。先生方が私たちにそうして下さったように、全ての方に感謝とリスペクトを忘れない「良い音楽家」を目指したいです。

東京音楽コンクール入賞者 吉田智就

ホルンは一般的にはまだまだマイナーな楽器なので、幅広い音楽活動を通してホルンという楽器を知ってもらい、聴いて下さる方々にホルンの魅力を感じてもらえるような演奏家になりたいと思っています。当面の目標として、プロオーケストラに所属し、その中で様々な音楽活動を通して聴く方々に感動を伝えていければと考えています。

Music Program TOKYO Workshop Workshop! 東京ネットワーク計画

多くの文化施設や芸術団体では、独自の若手アーティスト育成・支援プログラムを行っており、そこで育った人材が国内外の大舞台で活躍しています。同時に、ホールでのコンサートだけでなく、より多くの方に音楽を届けようと地域や教育・社会福祉施設等に出掛けて行うアウトリーチ・コンサートも盛んに実施されるようになっており、若手アーティストの活動の場は確実に増えています。

東京文化会館では、「東京ネットワーク計画」を通じて、都内の文化施設や芸術団体とネットワークを結び、若手アーティストの活動支援や、音楽活動による地域の活性化に取り組んでいます。

(2023年度の取り組み)

都内文化施設と連携したコンサートの実施

都内の区市町村等に、東京文化会館が主催する東京音楽コンクールで優秀な成績をおさめた若手アーティストを派遣し、都内文化施設と東京文化会館が共催でコンサートやアウトリーチ公演を行っています。都内の様々な文化施設と若手アーティストとの輪を広げ、地域の特性を生かしたコンサートをお届けします。

●ごほうびクラシックス

としま区民センターにて、オーボエ、ヴァイオリン、チェロ、ピアノによる室内楽コンサートを開催しました。このコンサートでは、都心に位置する地域ならではのコンセプト「日々の喧噪を忘れられるような、ごほうびの時間」に沿ってオーボエ奏者の副田真之介さんにプログラムを構成していただき、様々な編成で音楽をお届けしました。

2023年6月14日(水) としま区民センター 8F 多目的ホール

出演/オーボエ：副田真之介 *第13回東京音楽コンクール木管部門第2位及び聴衆賞

ヴァイオリン：大槻桃斗

チェロ：加藤文枝 *第7・8回弦楽部門第2位

ピアノ：片田愛理

主催：東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館/公益財団法人としま未来文化財団

共催：豊島区



●東京音楽コンクール入賞者による金管五重奏 ～音楽を愛する皆様に贈る華麗なブラスサウンド～

くにたち市民芸術小ホールにて、東京音楽コンクール入選、入賞者のメンバーで構成された金管五重奏のコンサートを実施しました。吹奏楽器の演奏が盛んな地域により、金管楽器の魅力が溢れる楽曲の数々とともに、楽器をはじめた経緯や現在に至るまでなど、普段は聞けない演奏者たちの個々のエピソードもお届けしました。

2023年11月12日(日) くにたち市民芸術小ホール

出演/トランペット：犬飼伸紀 *第18回東京音楽コンクール金管部門入選

トランペット：河内桂海 *第20回金管部門第1位

ホルン：柳谷信 *第18回金管部門第3位及び聴衆賞

トロンボーン：高瀬新太郎 *第16回金管部門第2位

チューバ：柳生和大

主催：東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館

共催：公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団/くにたち市民芸術小ホール



首都圏文化施設・芸術団体と連携した人材の育成

東京文化会館では、首都圏文化施設や芸術団体と協力し、次代を担う「人材」を育成します。

今回は「音楽家のための確定申告・インボイス制度講座」を実施。目まぐるしく変化していく社会の流れをつかみ、安定的な音楽活動を続けるために必要な情報を提供することにより、音楽家の幅広い活動を支援します。

●若手音楽家活動支援セミナー

「音楽家のための確定申告・インボイス制度講座」

2024年2月1日(木)

講師：山内真理(公認会計士・税理士/公認会計士山内真理事務所/株式会社THNKアドバイザー代表)

4館連携 若手アーティスト支援 アフタヌーン・コンサート

都内文化施設で育った若手アーティストと文化芸術・教育・社会福祉関係者、応援して下さるお客様をつなぐ取り組みとして「アフタヌーン・コンサート」を開催いたします。

令和5年度、この公演は、東京芸術劇場、トリトン・アーツ・ネットワーク/第一生命ホール、サントリーホール、東京文化会館の4館の連携により実現しました。

まさに次代を担う若手アーティストの熟演とアウトリーチのデモンストレーションを交えたコンサートをお楽しみください。

東京芸術劇場 Tokyo Metropolitan Theatre

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

東京芸術劇場は、東京都の音楽・舞台芸術を代表する「顔」として、長期的な視点から「芸術文化の創造発信」「人材育成・教育普及」「賑わい」「国際文化交流」の拠点を目指し、質の高いプログラムを実施しています。

芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド(GOA)

東京芸術劇場では、2014年から若き管打楽器奏者を対象とした無償のアカデミープログラムを開設しています。全国各地から総勢約20名のアカデミー生が在籍し、レッスン・キャリアアップゼミ・コンサートからなる3年間のカリキュラムを受講。アカデミー生はこれから社会で活躍するためのキャリアプランを劇場とともに考え、オーケストラや吹奏楽だけに限らない幅広い表現力と、セルフプロデュース能力の向上を目指して研鑽を積んでいます。

これまで、約65名近くの若き管打楽器奏者が学び、国内外で活躍しています。

在籍生・卒団生の主な活躍

正木知花(第6期生/東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団フルート奏者)

中山泰洋(第6期生/ブルガリアルセ国立歌劇場管弦楽団 オーボエ奏者)

伊藤 愛(第6期生/鹿児島県錦江町・地域おこし協力隊&フルート奏者として演奏活動とイベントプロデュースを行う)

陶山咲希(第7期生/兵庫芸術文化センター管弦楽団 ファゴット奏者)

森山拓哉(第8期生/兵庫芸術文化センター管弦楽団 ティンパニ奏者、神戸市室内管弦楽団ティンパニ・打楽器奏者)※在籍生

カリキュラム紹介

①レッスン

第一線で活躍する演奏家たちが、楽器の垣根を越えて個人・アンサンブルの指導にあたります。講師は管打楽器だけでなく、ピアノ、弦楽器、声楽などさまざまな演奏分野から集結。アカデミー生はあらゆる角度から表現を磨いていきます。さらにプロのオーケストラへの入団を見据え、オーケストラ・スタディのレッスンも実施いたします。



木管オーケストラ・スタディのレッスンの様子

②キャリアアップゼミ

社会のなかで活躍できる音楽家になるには?—プログラムノートの書き方から、身体のしくみ、キャリアプラン、さらには社会マナーや確定申告に至るまで、バラエティに富んだ座学とワークショップで、アカデミー生は独り立ちするための知見を身につけていきます。



ボディマッピングについて

③成果披露コンサート(今年度は関係者のみ)

毎冬には、これまでの学びの成果を披露。在籍3年目のアカデミー生は、30分のプログラムを自ら企画して上演する「ショーケース」を実践します。アカデミー生は、「ショーケース」の本番に向けて、複数の企画会議と本番を想定したりハーサル(ランスルー)を事前に行い、コンサートの準備過程を学びます。



第9回演奏会の様子



©T. Tairadate

劇場外での演奏

GOAは、定期演奏会のほか、レッスン・キャリアアップゼミで学んだことを実践する場として、劇場外での演奏活動にも力を入れています。

GOAにご依頼をいただいた演奏会では、アカデミー生がプログラムを考え、音楽的なりハーサルの準備だけではなく、進行表の作成や対象者に合わせたMCなど、万全の準備を行い、本番に挑んでいます。

◆2023年6月4日(日)

「つながるひとまち」IKESEI ミュージックライブ

会場：西武池袋本店 9階屋上 食と緑の空中庭園 特設ステージ

主催：西武池袋本店



◆2023年9月5日(火)

「秋の東美会」

会場：東武百貨店8F 催事場 イベントスペース

主催：株式会社東武百貨店池袋店



◆2023年10月15日(日)

【東京都・青梅市連携企画】「親子で楽しむわくわくコンサート!」

会場：S&Dたまぐーセンター 3階研修室A

主催：青梅市教育委員会/東京都



◆2023年11月30日(木)

「アリオス キッズルーム・シアター #50」

会場：いわき芸術文化交流館アリオス 大リハーサル室

主催：いわき芸術文化交流館アリオス



©吉田和哉

◆2023年12月10日(日)

【豊島区・箕輪町交流事業 クリスマスコンサート in MINOWA】

会場：箕輪町文化センターホール

主催：箕輪町/箕輪町教育委員会



トリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホール

Triton Arts Network / Dai-ichi Seimei Hall



トリトン・アーツ・ネットワークは、第一生命ホール(東京都中央区晴海)を拠点として、音楽活動を通じて地域社会に貢献する認定NPO法人です。「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」を活動理念とし、「音楽によるコミュニティの活性化——音楽の楽しさを分かち合い、心を豊かにする」を目指し、ホール事業とコミュニティ事業の2つの柱を軸に活動しています。とくにコミュニティ事業は、NPOの会員、サポーター(ボランティア)、寄付等の様々なご支援で実現しています。

コミュニティ事業：若手演奏家の支援～アウトリーチセミナー

若手演奏家支援として、「音楽家がコミュニティの中で果たす役割」をアウトリーチ活動の実践を通して考えるセミナーを実施しています。受講生は講師と弦楽四重奏を組み、プログラム構成を自ら考え、アンサンブル能力と音楽への理解を深めながらアウトリーチのノウハウを学びます。音楽の深いところまで伝えるにはどうしたらよいか、子どもたちと音楽に本気で向き合うことにより、演奏家としての今後の活動に役立つスキルを身につけます。セミナー修了後は、幼稚園・保育園でのアウトリーチやホールでのコンサートの機会を提供し、さらなるスキルアップを目指します。

【講師】松原勝也(ヴァイオリニスト/東京藝術大学教授)

《セミナーの流れ》

- トリトン・アーツ・ネットワークスタッフによるオリエンテーション
- 「第一生命ホールオープンハウス」出演に向けての集中セミナー(3日間)



- 「第一生命ホールオープンハウス」出演



- 小学4年生を対象としたアウトリーチに向けてプログラムをブラッシュアップ
- 小学校でのアウトリーチ実践(2校程度)



- 1年間のセミナーの成果発表として「第一生命ホールロビーコンサート」に出演



コミュニティ事業：アウトリーチ活動

中央区およびその近隣の教育機関や病院、福祉施設など、普段生の芸術文化に触れる機会が少ない皆さまのところへアーティストと伺い、音楽をお届けしています。音楽を鑑賞してもらうだけではなく、対象者と演奏家のコミュニケーションを重視した、各訪問先の対象者や特色に合わせたプログラムを行っています。



東京文化会館主催 アフタヌーン・コンサート(2023年度)
出演者による幼稚園アウトリーチ

ホール事業：ウェールズ・アカデミー

トリトン・アーツ・ネットワークが第一生命ホールで長年開催する「SQW(ストリング・クァルテット・ウィークエンド)」シリーズの一環として、2022年度より実施。ミュンヘンARD国際音楽コンクール入賞後、スイス・バーゼル音楽院で研鑽を積んだ「ウェールズ弦楽四重奏団」が、次世代に自らの経験を伝えたいとスタートしたものです。第2期(2023年度)は、個人参加2名が講師と共にブラームスの弦楽五重奏曲第2番に、また、弦楽四重奏として参加の2団体がベートーヴェンの「ハーブ」と「セリオーソ」にそれぞれ取り組んでいます。その成果を2月4日に第一生命ホールで披露しました。

ウェールズ弦楽四重奏団メンバーによるレッスン



コミュニティ活動のレポートやトリトンアーツ通信、
年間の事業報告書などをご覧ください。

<https://triton-arts.net>



サントリーホール Suntory Hall



東京初のコンサート専用ホールとして1986年に開館。以来、世界的なアーティストや作曲家、コンサートホールと協働し、グローバルな視野で活動を展開しています。同時に「ENJOY! MUSIC プログラム」と題した教育普及・社会貢献活動を展開し、未来を担う子供たちやプロフェッショナルを目指す若手音楽家たちに向けたプログラム、また、すべての人に身近なホールとなるための多彩な取り組みを実施しています。

ENJOY! MUSIC プログラム

《音楽に出会うよろこびを》—未来を担う子どもたちへ

- いろいろなドレドレ—美術と音楽に親しむワークショップ&コンサート(3~6歳)
- オルガン研究所(4歳~)
- 東京交響楽団&サントリーホール 子ども定期演奏会(小学生~)
- 佐治敬三 ジュニアプログラムシート(小学生・中学生)
- サントリーホール&ウィーン・フィルの青少年プログラム(中学生・高校生)など

《音楽を創るよろこびを》—若きプロフェッショナルたちへ

- サントリーホール アカデミー
- ウィーン・フィル奏者によるマスタークラス

《より開かれたホールをめざして》

- オープンハウス ~サントリーホールで遊ぼう!(入場無料)
- オルガン プロムナードコンサート(入場無料)など



「ENJOY! MUSIC プログラム」
詳細はこちらをご覧ください



いろいろドレドレ



子ども定期演奏会(子ども奏者がオーケストラ内で演奏)

サントリーホール アカデミー

プロフェッショナルとして歩みはじめた若手音楽家を対象とする、オペラと室内楽の2部門からなるアカデミー。オーディションに合格した受講生は、国内外の第一線で活躍するアーティストに2年間無料で学ぶ機会が与えられ、定期的に行われる勉強会で研鑽を積みまします。成果発表の拠点となるのはブルーローズ(小ホール)。選抜メンバーはサントリーホール制作のオペラ公演や室内楽フェスティバル「チェンバーミュージック・ガーデン」に出演します。両アカデミーの最新情報はサントリーホールHP内の「サントリーホール アカデミー」トピックスで随時紹介しています。

【アカデミー・ディレクター】堤 剛(チェリスト/サントリーホール館長)



「サントリーホール アカデミー」
トピックスページは
こちらをご覧ください

《オペラ・アカデミー》

サントリーホール主催のホール・オペラ®に付随する育成プログラムとして1993年に発足。世界的な指揮者や歌手、コレペティトウアによるレッスンを受けるのみならず、メンバー同士が互いのよき「耳」となり、歌を聴いて意見を述べることで啓発しあう研修会のスタイルが大きな特徴です。2011年秋より若い声楽家・ピアニストのための「プリマヴェーラ・コース」を開設、エグゼクティブ・ファカルティに元テノール歌手で現在は指揮者・音楽指導者として活躍中のジュゼッペ・サッパティーニが就任しました。13年秋には「アドバンスト・コース」を併設。本アカデミーの活動の柱となるブルーローズでのコンサートやオペラ公演の他にも、選抜メンバーにはサントリーホール内外で様々な演奏機会を提供しています。迫田美帆、土屋優子、林真暎、石井基幾など国内外のオペラプロダクションで活躍する修了生も多く輩出しています。

【エグゼクティブ・ファカルティ】ジュゼッペ・サッパティーニ

【コーチング・ファカルティ】天羽明恵、野田ヒロ子、櫻田 亮、今尾 滋、増原英也、古藤田みゆき、森田 学

【プロデューサー】真鍋圭子(サントリーホール エグゼクティブ・プロデューサー)



エグゼクティブ・ファカルティによる特別研修会



オペラティック・コンサート

《室内楽アカデミー》

2010年10月に開講。フェロー(受講生)たちは国内外の第一線で活躍するファカルティ(講師)と共に取り組む毎月2日間の定例ワークショップで、演奏技術からアンサンブルをする上でのコミュニケーションのとり方まで、広い視野でプロの室内楽奏者としての基礎を固めます。お互いの演奏を聴き合う聴講も大きな特徴のひとつです。「チェンバーミュージック・ガーデン」への出演や、とやま室内楽フェスティバルなどの演奏の機会を通じて、室内楽の楽しさと深みを聴き手と分かち合う経験を重ねています。これまでに、葵トリオ(2018年ミュンヘン国際音楽コンクール第1位)のメンバー3人(秋元孝介、小川響子、伊東 裕)、クァルテット・インテグラ(2022年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位および聴衆賞)や、ほのカルテット(大阪国際室内楽コンクール2023弦楽四重奏部門第2位)などの若き室内楽奏者を輩出してきました。

【ファカルティ】原田幸一郎、池田菊衛、磯村和英、毛利伯郎、練木繁夫、花田和加子



定例ワークショップ



チェンバーミュージック・ガーデン

東京文化会館 Tokyo Bunka Kaikan



東京文化会館は、1961年の開館以来、オペラ、バレエ、クラシックコンサートなど、世界の名手たちが集う“音楽の殿堂”として多くの人々に親しまれています。自主事業では、新たな舞台芸術の創造発信、幅広い層への教育普及、次代を担う新進音楽家等の発掘・育成を柱に、多彩な事業を展開しています。

東京音楽コンクールと充実した入賞者支援

東京文化会館では、当時の館長であった故三善晃氏(作曲家)のもと、2003年より芸術家としての自立を目指す可能性に富んだ新人音楽家を発掘し、育成・支援を目的に「東京音楽コンクール」を開始しました。現在は国内外から多数の応募が寄せられる、若手音楽家の登竜門となっています。入賞者には、主催・共催事業への出演機会の提供やリサイタル支援など、次代を担う若手音楽家のキャリアステージに即した多彩な入賞者支援を用意しています。



東京音楽コンクール詳細

《入賞者への多彩な支援》

●東京文化会館主催事業への出演

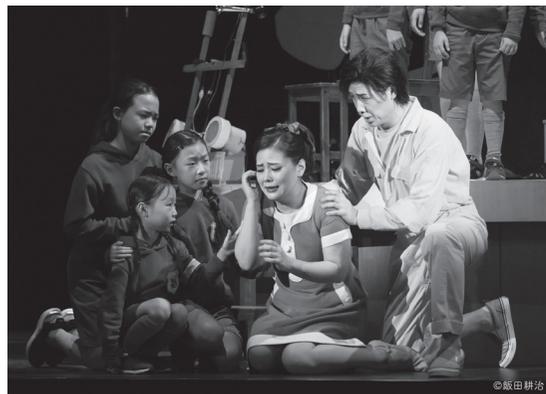
東京音楽コンクール優勝者&最高位入賞者コンサート、東京文化会館《響の森》、上野 de クラシック、オペラBOX、アウトリーチ・コンサート、ミュージック・ワークショップ、舞台芸術創造事業、リラックス・パフォーマンスなど

●共同主催・連携事業への出演

小ホールにおける入賞者リサイタル(入賞者主催)、在京オーケストラとの共演による「フレッシュ名曲コンサート」(区市町村)、まちなかコンサート、東京芸術劇場主催「シアターオペラ」「コンサートオペラ」など

●入賞者プロフィール等の紹介

「東京音楽コンクール 報告書」へ掲載し、音楽事務所やオーケストラ、マスコミ各社に配布
東京文化会館ウェブサイト上での入賞者紹介ページの設置



オペラBOX『Help! Help! グロボリンクスだ! ~エイリアン襲来!! ~』
(2023年9月)



まちなかコンサート(2023年10月)江戸東京たてももの園 子宝湯

東京文化会館の人材育成・教育普及事業

東京の音楽文化の活性化を目指す「Music Program TOKYO」を通じて、様々な若手音楽家の活躍の場を創出しています。

《東京文化会館ミュージック・ワークショップ》

0歳から大人まで ~見つけよう、音楽で広がる新しい世界

「音楽の素晴らしさをもっと気軽に、一人でも多くの方に味わってほしい!」という思いのつまったミュージック・ワークショップ。年齢や国籍、障害などの社会的背景に関係なくあらゆる人が参加できる場であること、音楽や芸術に対する関心を高め、自己表現能力やコミュニケーション能力を養い、豊かな心を育てることを目指しています。また、ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」と連携し、「ワークショップ・リーダー」の育成や、独自のプログラム開発にも取り組んでいます。オリジナルワークショップの「はじめましてクラシック」には、東京音楽コンクール入賞者も多数出演しています。さらに、東京文化会館では毎月ミュージック・ワークショップを実施するとともに、都内文化施設、特別支援学校、高齢者・社会福祉施設等でも実施しています。

《Music Education Program》

次世代を担う子供たちが舞台芸術に直接触れることで、豊かな心を育み、舞台芸術に対する愛情・理解を深めることを目的としたプログラムです。

●アウトリーチ・コンサート

東京音楽コンクール入賞者が都内保育園・幼稚園、小中学校に赴き、本格的なクラシック音楽による出張コンサートを行います。

●アウトリーチ・ワークショップ/クリニック

部活動など学校の授業外で行われているブラスバンドやオーケストラ、和楽器などで音楽活動をしている小中学生へ、東京音楽コンクール入賞者や、ワークショップ・リーダーが直接技術指導を行います。

●アウトリーチ・ワークショップ

東京文化会館ワークショップ・リーダーが、学校の授業の一環として東京文化会館ミュージック・ワークショップを実施する参加型教育プログラムです。



東京文化会館ミュージック・ワークショップ
ミュージック・ワークショップ・フェスタ(夏)(2023年7月)「シンフォニック・ジャングル」
江東区豊洲文化センター サブ・レクホール



アウトリーチ・コンサート(2023年6月)



東京文化会館ミュージック・ワークショップ
特設ページ